



「春日和 桜満開 秋津川」



益城町

議会だより

清水

せい すい

平成24年(2012) 3月定例議会 No.47

シバザクラ



平成24年度一般会計・特別会計などを審議

P2~P4

● 広安町民グラウンド用地購入費に3億7,000万円

一般質問5名が町政を問う

P5~P9

常任委員会レポート

P10~P11

組合議会からの報告

P12

大刀洗町、大木町から視察

3月議会の賛否表

P13

学校自慢 広安小学校

P14

ご意見番

急激な医療費の伸びに国保税収入 追いつかず、12.4パーセントの引き上げ

国・県からの支出金1,217万5,000円(木造建築部分)社会福祉振興基金3億1,000万円と公共施設整備基金の3億円を充てている。工事完了については、児童厚生施設の補助の内示が6月ぐらい

保健福祉センター工事費、6億2,250万円の財源の内訳と、入札の時期および、工事完了予定はいつか。

耐震工事の期間については、7ヶ月程みている。入札については、工事内容を検討しているところ、今のところまだ決まっていない。

役場庁舎耐震改修工事はいつまで掛かるのか。また、入札はどのような方法で行うのか。

平成23年度 補正予算を問う

かと思われるので、それから工事に入り、25年3月末の完成を見込んでいる。

住宅管理費の中で、工事請負費4,929万4,000円とかなり大きな減額となっているがその理由は。

団地の外壁劣化の状況を、設計書が出来上がる前に概算で出していたが、設計書が出来上がった時点で、思ったより劣化が少なく、5,000万円近く不要になった。

定住促進住宅建設補助金及び、地域活性化対策家賃補助金にかなりの余剰金が出ているがその理由と、飯野、津森、福田校区でそれぞれ何軒の適用があったのか。

当初、1,800万円を予定していた。その時、補助の内容が決まっていなかった

平成24年度 一般会計・特別 会計予算を問う

支部助成金については、既に地対財法が失効して10年も経過しており、そろそろ見直す時期に来ていると思うが如何か。

現在9軒の新築があり、7軒が飯野地区、2軒が福田地区で、その内、7軒が町外から、益城町内からの方が2軒となっている。

ため、新築に対する補助を100万円の18軒分組んでいたが、新築の補助が半年後に50万円、残り半分が3年後に支給することになったためである。

同和問題は人権問題の大きな柱として、取り組むべき重要な課題であり、これからも粘り強く解決に向けた取り組み、また啓発等を推進して行かなければならないと思っております。ご理解をいただき

3月 定例議会

平成24年度一般会計予算

105億550万5千円

平成24年度一般会計・特別 会計予算などを可決・認定

平成24年第1回定例議会が3月6日から開かれ、平成23年度補正予算及び平成24年度一般会計・特別会計予算など30議案を慎重審議し、可決・認定した。
現広安町民グラウンドに建設する益城町保健福祉センターは平成24年7月ごろの着工予定、また、新広安町民グラウンドとして山本山跡地を購入することとした。

新広安町民グラ ウンド山本山跡 地に

現広安町民グラウンドに建設する、益城町保健福祉センターの着工予定が7月頃となっており、それまでに新しいグラウンドの建設を目指していた。
候補地を今まで、山本山のグラウンド跡地、地域再生道路の沿線沿い、それから益城中学校付近の3か所に絞って検討を重ねてきた。

当初、総合的に判断して、広安の中央付近の地域再生道路沿いが最も敵地ではないかと考えていたが、新たに土地を購入して造成するとすると、農地転用とか用地交渉に相当の日数が掛かるのではなにかと考えられる。
また、上下水道の整備、調整池の整備など多額の費用が必要となる。そういうことを総合的に審議した結果、最終的に新町民グラウンドは山本山跡地とすることになった。

益城町国民健康 保険条例の一 部改正

益城町の国保財政は高齢化の急速な進展や長引く不況による構造的な要因などにより、大変厳しい状況にある。
平成21年度ごろから、医療費が急激に伸びるなか、逆に税収は伸びず、平成20年度末時点において、基金残高約4億8,200万円、翌年度への繰越金約3億9,500万円、併

その他の 条例の一部改正

益城町手数料条例の一部改正
熊本県からの権限移譲等(火薬類の譲渡、譲受の手数料)に伴う条例の改正と住基カードの無料発行を延長するため。
益城町議会委員会条例の一部改正
町の組織改編に伴う福祉常任委員会の所管改定のため。

せて8億7,700万円あったものが、平成24年度にはすべてなくなり、平成24年度末には財源不足となる。
一般会計から5,000万円の繰入をしても、まだ、約7,800万円の不足となることから、税率の改正を行うものである。

益城町営住宅条例の 一部改正

益城町下水道条例の一部改正
指定工事店の指定(更新を含む)の申請者からの手数料徴収事務の一部変更
益城町介護保険条例の一部改正
第5期介護保険事業運営期間における介護保険料率等の変更
益城町営住宅条例の一部改正
公営住宅法等の改正に伴う条例の改正
固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
固定資産評価審査委員として、川端政信氏(益城町大字福原1958番地)の選任に同意した。
また、人権擁護委員として、坂本隆憲氏が再任された。

たい。
急激な医療給付費の増加が予想されることから、国保税の12.4パーセントの引き上げが計画されている。

引き上げは、健康増進や医療費抑制の方策を実施していく体制を作り、その実施効果を見てからでもいいのではないかと。

国民健康保険は、近年、急激に医療費が増加し続けており、平成24年度において、「国保財政調整基金」や前年度からの繰越金等すべてを充てたととしても、医療機関へ支払う医療費の不足が見込まれることから、今回、不足する財源のうち、一般会計からの法定外繰入金5,000万円を投入し、残りの不足分を国民健康保険税12.4パーセントの増税で賄うこととした。
『健康づくり推進課』を新たに設け、役場のすべての組織が一丸と

なって医療費の抑制に取り組んで行く。

災害備蓄消費品費に268万円計上されているが、どのようなものを備蓄するのか。

飲料水(500ミリリットルを一人5本の300人分で最低3日もつ分)五日御飯缶詰、乾パン、粉ミルク、毛布300枚、救急セット、トイレトイレットペーパーなどのトイレセット、乾電池式のラスタン等、また扇風機やストーブなどを備蓄する予定である。



災害避難所案内標識設置の場所と標識の大きさ、また何箇所ぐらゐ設置するのか。

標識は15箇所を予定している。具体的な場所や大きさについては今後検討する。

借地料29万1,000円はどこを借り上げるのか。広さはどれくらいあるのか。

借地料の内訳としては、総合体育館敷地45,000円(290平方メートル)、津森グラウンド借地料11,000円(478平方メートル)、広安町民グラウンド235,000円(4,500平方メートル)となっている。

広安町民グラウンド用地購入費として、3億7,000万円計上されているが、グラウンドの面積と、場所を山本山跡地に決定した経緯を伺いたい。

広安町民グラウンドの面積は、18,562平方メートルを予定している。山本山跡地に決定した経緯については、現在計画中の益城町保健福祉センターが、本年7月ごろの着工予定になっていることから、なるべく利用者に迷惑をかけないように、早い時期の完成を目指していた。

新たにグラウンドを作る場合は、ある程度まとまった面積の土地を取得するため、用地取得や農地転用等に伴う日数も相当かかるものと思われる。

そこで、庁議を重ね検討した結果、すでにグラウンドとして使用されており、現状のまますぐ使え、造成費や

開発費が抑えられる。また、公園グラウンドや災害時の非難場所として利用できる山本山跡地に決定した。

広安町民グラウンドを決める時には、地域の区長や議員、体協ぐらゐには相談をして、検討委員会を作るべきではなかったか。

山本山跡地については、関係各課での検討を重ねており、検討委員会を作るまでには至らなかった。

保健福祉センターに設置する太陽光パネルは設置費の2分の1が補助と聞いているが、太陽光パネルの容量を教えてください。

50キロワットを予定している。全体の約10・6パーセントを見込んでいます。

町民憩いの家の使用料が年々減少しているが、その原因はどこにあると思われるか。また、文化会館は利用者が多いのに、施設使用料は減額になっている。これは町が利用



新広安町民グラウンド予定地の山本山跡地

される団体などに減免措置をやっているからではないか。23年度に減免された件数は何件くらいあるのか。

町民憩いの家については、開館以来20数年を経過しており、施設の老朽化が進んでいること、また周辺に類似施設ができたことなどによるものと思われる。

文化会館の平成23年度の減免件数は240件ほどあり、役員関係が大半を占めている。

最近新聞等で年金基金の一部運用を投資信託に委託し、大きな損失を出しているとの報道があつているが、町は基金運用をどのようにしているのか。

基金については、町内の金融機関、みずほ証券等の会社に預け入れられている。利息が上がればそれも基金に積み立て運用している。ただ、途中で財源不

足が生じたときは、取り崩す場合もある。全国九州大会出場助成金が昨年度より、50万円減額になっているが、その理由は。

平成24年度から、助成金の回数を一人2回までを1回にし、また、県内で開催される大会を助成対象外等にしたためである。

平成24年度の予算が執行された後、どれだけの基金が残るのか、特に財政調整基金、公共施設整備基金についてもう一度確認したい。

平成24年度の基金残高は、約35億程度になるのではないかと見込んでいる。そのうち、財政調整基金約10億1千万円、公共施設整備基金が約9億円の残高となる見込みである。



宮崎 金次議員

ましき野地区を安永5町内として発足したいが町としてもしっかりと協議をし進めていきたい

地域再生道路を今後町開発のけん引車に今後広安西部地区の区画整理事業と一体にして進めたい

ましき野新町内会の発足について

宮崎 安永3町内にある「ましき野自治会」は、安永3町内の中でも離れた地域にあつて、住居者もすでに200世帯以上となったので、平成25年4月を目途に新しく安永5町内として発足準備を進めてよろしいか。また町から委嘱を受ける町内会長(区長)についての制約事項、及び新町内会として活動する上で必要となる公民館の建設費の町からの補助について伺いたい。

町長 行政区の分割については、従来世帯数の増加により町政の円滑な運営に支障をきたすと思われる時、行政指導で行つて来たが、確かに「ましき野地区」は200世帯を超え、安永3町内の中でも遠隔地にある等の状況を町としても認識しているため、「ましき野新町内会」の発足については、しっかりと協議させてもらつて進めて行きたい。町内会長等の町の嘱託員についての制約事項については、特段の制約はないので、嘱託員としてふさわしい方をご推薦



ましき野地区住宅街風景

いただきたい。また公民館の建設費の補助については、益城町ふるさとづくり施設整備費補助金交付要綱により、新築の場合、建設費の半分で限度額は500万円となっているが、過去において安永を4分割した時、1,000万円、馬水南公民館の場合も1,000万円の補助をしたという事例があるので、その付近もしっかり踏まえて前向きに検討したい。

地域再生道路について

宮崎 現在建設中の地域再生道路について、まず建設の目的と今後の工事予定について、更に地域再生道路の完成に伴うその効果と今後拡充・発展させて行くべき事項(将来予測)等について伺いたい。なお、地域再生道路と第2空港線を接続するための道路をグランメッセ東側に建設する事、及び地域再生道路の完成を見越してのわが町の開発ビジョンを早急につくり上げるの必要ではないのか。

町長 地域再生道路整備の目的は「都市と農村をつなぐ地域再生計画に基づき、熊本空港・益城熊本空港インターチェンジ及びグランメッセ熊本など、流通起点を要する地理的特性を生かし、地域の重要なインフラである町道及び基幹道となる広域農道の一体的な整備を行い、効率的で快適なネットワークを構築し、都市と農村の交流を活性化し、地域の一体的な再生に寄与する」事で、現在平成22年度から始まった工事の進捗率は約55%となつており、平成

26年度末に完成予定である。また本道の完成に伴う効果として、熊本・高森線の渋滞緩和、更に益城台地西部地区の区画整理事業の推進及び地域再生道路に接続する道路の配置により、秩序ある開発につながるものと考えている。また、第2空港線との接続道については、一応設計図をもとに県などと協議中で、更に沿線にグラウンド、福祉施設等の公共施設を作るといった提言も今後は是非参考にした



地域再生道路(広安西小付近)



稲田 忠則議員

国民健康保険特別会計の現状について

稲田 国民健康保険の加入者は自営業や勤めを退職した方等で、平成22年度、9,849名、世帯数5,118戸である。

平成20年度より75歳以上の方、2,994名が後期高齢者制度に移行されたため、歳入で2億3,300万円の減額、歳出の医療費は4,240万円増額している。その後平成21年度に、単年度赤字1億5,600万円となり、さらに平成22年度、平成23年度はかなり厳しい状況になったがその理由について伺う。

国民健康保険税値上げの説明責任があるのではないか

プロジェクトチームを編成し丁寧に説明したいと思っている

町長 国民健康保険は、高齢化や産業構造の変化などの影響を受けやすく、制度の発足当時と比べ、高齢者の割合が増加する一方で、農林水産業や自営業の割合が減少し、無職者、特に年金受給者の割合が増加している。更に、長引く不況によるリストラや倒産など急激な社会情勢の変化により、社会保険等加入者や、非正規雇用者で国保へ加入する方が年々増えている状況にある。

保険税の値上げについて

町長 長引く不況により収納率が低下し、平成22年度87.98%、また平成22年度の保険税の引き下げにより5,200万円の減額、さらには、平成17年度から保険給付費の増加、高額医療による医療費の増加が年々ふえてきた現実に対し、なぜ早くから対策を取らなかったか。町長も先行きの見通しが甘かったのではないかと。



町長 平成24年度は、歳入歳出差引見込額は、9,641万円の赤字となる。また、税制の改正をしなかった場合には、1億2,841億円の財源不足になるため一般会計から法定外繰入金5,000万円投入しても、不足分の7,841万円を結果的には保険税の増税としてお願いしなければならぬ状況にある。財源不足に対する一般会計から国保会計への法定外の繰入実施については、その財源が町税であり、国民健康保険以外の保険に加入している方にも負担をして頂かなくてはならない。

今後の国民健康保険財政の健全化に向けた取り組みについて

町長 平成22年度に保険税を下げ、今回は値上げする理由や、今後の計画を各校区の加入者の方のところに伺って、解りやすく説明して理解を求める必要があると思うが、町長はどう考えるか。



益城町保健福祉センター完成予想図

町長 現在、国保、保険関係の2課ある。これに健康づくり推進課を1課増やす。また、レセプトを活用した医療費の分析、地域ごとの病気の特性や受診状況など現状を的確に把握して、課題を明確にした上で、実現可能な医療費適正化の具体的な計画を策定し、総力を挙げて推進していきたい。さらに、プロジェクトチームも編成し丁寧に町民の皆さん方に説明をしたいと思っている。



江越 信保議員

将来を見据えた町の行政改革推進を行政大綱を基本にしながら粛々と進めていく

難聴者のために窓口に携帯助聴器(ボイスメッセ)の設置を

設置に向けて検討する

効果的で効率的な行政運営の推進を

町長 恵まれた環境の中で、町はベッドタウンとしても発達してきた。しかしながら近年、高齢化のしわ寄せは例外にもれず、確実に押し寄せている。

こうした中、行政は時代に応じた改革が必要ではないか。

行政の役割は住民サービスである。しかし福祉と財源は表裏一体であり、福祉を充実させるためには財源の確保は欠かせない。

自立した行政経営を展開するためには、行政経営改革の取り組みが必要である。福祉を交代することなく、安定した行政運営を行うためには、限られた財源でどこまで事業を行えるのか。組織改革、施設運営等を含め、将来の行政改革について町長の考えを伺う。

町長 行政改革は大変重要な課題としてとらえている。

平成21年12月、町長から「益城町行政改革案」について益城町行政改革推進委員会に諮問を行い、平成22年7月



新たに新設された役場窓口

に答申を頂いている。

大綱は、平成21年度から25年度までの計画期間としており、次の7項目からなる。

- 1 時代に応じた組織機構の見直し
 - 2 効果的な行政運営と事務事業の見直し
 - 3 定員管理と給与適正化の推進
 - 4 健全な財政運営
 - 5 民間委託の推進
 - 6 住民と行政とのパートナーシップの確立
 - 7 地域づくり活動の推進
- この7項目について改革を行うよう定めているが、国保

問題の厳しい状況を踏まえ、早速4月1日付けで実施する組織再編や、すでに実施している証明書の自動交付機設置も行政改革の一環として行っている。

付窓口に設置願いたい。大事な会話が聞き取れなくて発生するトラブル防止はもとより、住民サービスの観点からも提案する。

手軽で簡単 窓口サービスにボイスメッセ

町長 「指定管理者制度」などは、「指定管理者制度」などの民間活力の導入として、介護老人ホーム「葉山荘」をはじめとした、施設の運営や整備について効果的、効率的な観点から更に検討を進めていきたい。

役場のカウンターは町民の皆さんがサービスが良いか悪いか判断する大きな場所でもあり、提案されたボイスメッセの設置に向けて検討する。



携帯助聴器ボイスメッセ



野田 祐士議員

町の活性化のための情報発信と産業振興策について

野田 益城町の産業を活性化させていくための、一つの手段として情報発信による啓発活動を活性化させることが重要ではないか。

町長 第5次益城町総合基本計画にも定めているように、農林業・工業・商業・観光の振興策を示し、益城町のイメージアップとブランド化の推進を優先プロジェクトに掲げて取り組んでいる。

野田 益城町には高速道路のインターチェンジや空の玄関口である空港を持っている。民間等との協力や支援も考慮し、もっと活用すべきではないか。

町長 現在、広報ましき・ホームページ上での発信及び交流情報センター内のインフォメーションで町の特産物などを紹介することも考えている。

また限られた予算の中で、今あるものを上手く活用していくことが大事であると思

う。グランメッセの活用及び空港周辺の活用もしっかり考えていく。

野田 飯田山及び潮井水源の公園化の整備を進めている中、アイデアを集結することで、より良いものを作り、また四賢婦人ゆかりの地であることを活かした町創りが必要ではないか。

町長 公園化に向かい着々と整備を進めている。また桜のオーナー制度等を設立し情報発信を行っていく。また四賢婦人の偉大さが町内外から伝わってきている。積極的に情報の発信を行っていくよう取り組んでいく。



七福神桜（川内田地区）

土地を有効活用する為のプロジェクトチームの設置について

野田 素晴らしい立地条件にある土地の有効活用について様々な規制や問題をどう解決していくつもりか。また地域再生道路沿線をどのように活用していくのか。

町長 市街化調整区域の有効な土地利用の推進については、早速、プロジェクトチームを設置して、土地利用の構想を検討することに取り組んでいく。

また、規制を解くに当たっては全議員にも力を貸して頂きたい。

野田 土地を有効活用していくためには、インフラの整備が重要になっていくのではないかと。

町長 常に具体的な計画立案をして一歩一歩前に進むよう取り組んでいきたい。



地域再生道路沿線

野田 区画整理事業の進展が十数年後の益城町の発展に大きな影響を与える。また東西格差の一因にもなっていると考える。町として指導監督を充実させていくべきではないか。

町長 全国的には、開発公社制度から遠ざかっているのが現状である。土地の先行投資にはリスクを伴うため難しいと考える。

町の取り組む事業に対し、地権者の方々にも御理解して頂き御指導と御協力を願っていききたい。

子ども読書活動推進について

甲斐 自治体は、子どもの健全な成長に資する目的で「子ども読書活動推進計画」を策定するように努めなければならぬと定められているが策定しているか。

教育長 子どもが読書を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めることなど極めて大切な活動である。計画書は素案として完成しているのもうすぐプランを示せる。

甲斐 本町の小中学校の図書は、図書基準に対し不足している学校が多い。全校で基準を上回る図書を備えるなど充実させる必要があるのではないかと。図書数の多い学校には専任の司書を配置する考えはないか。

教育長 学校図書の充実については、町図書館及び学校図書館と連携して各小学校への配本事業を開始しているがさらに図書の充実をはかりたい。

図書司書の配置については

就学援助金制度の充実について

甲斐 町の就学援助金の認定基準は「世帯の所得が生活保護基準の1.05倍以下」となっている。1.3倍の自治体も増えているので所得認定基準を拡充する考えはないか。

教育長 上益城郡の各町では1・0倍がほとんどであり、今すぐ見直しが必要とは考えていないが、今後、引き上げについては検討したい。

甲斐 申請書に民生委員の家庭訪問による意見を条件とし



広安小学校図書室

ドリム益城っ子事業の補助教員に司書教諭との連携で兼務させていることでもまかなっていると考えている。

町長 法律では平成17年度に意見は求めなくてよいことになっている。法的根拠のない民生委員の意見については廃止すべきではないか。

教育長 民生委員の意見については、学校と連携しながら関係はつくっていくかなければと思っているが、廃止の方向で検討して欲しいとの要望であり今後検討したい。

甲斐 援助費について、平成22年度に新設された費用が加算されていないが加算すべきではないか。

教育長 援助費について、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費が新設されているが、必要としないか、任意団体の会費であるため、加算はしていない。実態を把握し他の自治体の動向もふまえ、支給の可否を検討したい。

学校給食費の無料化について

甲斐 町長は選挙公約で子育て支援として、給食費助成についてうたっている。また、2年前の議会でも「段階的に

無料化に向け研究し、財源については、有効に無駄を省いて確保できる」と答弁している。

教育長は、「全国で実施している自治体もあるので出来るものと思っている」と、答弁されている。どう具体化されるのか。

教育長 子育てや教育にお金がかかるのと声も多く、保護者の負担軽減は必要と思っている。今後検討していきたい。

コミュニティバスの導入について

甲斐 昨年9月議会でも、今年3月には公共交通計画を策定できると答弁されているが具体化しているか。

町長 実態調査と課題の整理を行い、計画案を承認いただいている。財源等を考えながら研究検討を重ね、早い時期に実現させたい。



甲斐 康之議員

子ども読書活動推進計画、図書の充実を

今年度計画を作成し、図書の充実を努力したい

就学援助金制度の充実をはかれ

要望の方向で検討・充実をはかりたい

学校給食費の無料化実現は

町でできることはやれるよう、研究を重ねていきたい

コミュニティバスの運行は具体化したか

研究検討を重ね早期に実現させたい

町の情報発信と産業振興策にどう取り組むか

様々なアイデアを集結し地域の振興策を講じていく

土地の有効活用及び利用にどう取り組むか

プロジェクトチームを設置し構想・検討を早急に行う

3月議会 常任委員会レポート



広安校区グラウンド予定地（山本山跡地）



広安西小学校において現況説明会

建設関連の道路改良工事では、より効果的な工法を図れ

建設 経済



グランメッセ木山線 工事箇所



広安校区グラウンド用地購入箇所

建設経済常任委員
会では、付託された8
議案について審査を行
い、いずれも原案の通
り全会一致で可決・認
定した。

なお、平成23年度一
般会計補正予算では、
住宅管理の減額補正で
工事見積りの十分な事
前調査を求める意見が
あり、平成24年度一般
会計当初予算では、農
政課関連の修繕や資材

支給では年次計画によ
る予算化を、建設課関
連の道路改良工事では
より効果的な工法を、
それぞれ検討するよう
意見があった。

現場視察では広安校
区グラウンド用地購入
予定地、グランメッセ
木山線工事箇所を視察
した。グランメッセ木
山線工事箇所では、担
当者から工事進捗状況

3月議会 常任委員会レポート

総務

広安町民グラウンド 予定地に 旧山本山跡地

総務常任委員会で
は、付託された9議案
について審査を行い、
いずれも可決した。

平成24年度益城町一
般会計予算について
は、広安西小学校普通
教室増築工事関係で、
建設検討委員会や調整
池の問題について質問
があった。

また、広安町民グラウ
ンド用地購入につい
て、「建設検討委員会
を立ち上げる必要が
あったのではないか」
「防災の観点からも緊
急避難場所として適さ
ないのではないか」な
どの意見があり、少数
意見報告書が提出され
た。

また、広安西小学校
の普通教室増設場所の
確認及び調整池に関す
る現状を確認した。

旧広安小学校跡地に
益城町保健福祉セン
ターの建設が予定され
ているため、現在使用
中のグラウンドが使用
できないことから、現
在地の北西約500
メートルにある農地借
用の予定地を確認する
とともに、グラウンド
ゴルフやゲートボール
等が早急に実施できる
よう早期の整備を求め
た。

国民健康保険特別会計の財政健全化対策 収納率向上対策と医療費分析及び健康増進の啓発

福祉



いこいの里（仮称）建設現場



養護老人ホーム葉山荘

福祉常任委員会で
は、付託された議案に
ついて審査を行い、議
案第1号・第2号・第
3号・第6号・第14号・
第20号については原案
の通り全会一致で可決
した。

また、議案第7号・
第8号・第9号・第10
号・第11号・第18号・
第19号については賛成
多数で可決した。

医療費分析の状況につ
いて説明を受けた。
医療費の抑制の方策
として、加入者に医療
費の増加の現状を周知
し、保健師などによる
健診後の指導と併せ、
健康いきがづくり事
業など健康増進の啓発
に努めていくよう意見
があった。

特別養護老人ホーム
「いこいの里（仮称）」
建設現場を視察し、順
調な工事の進捗状況を
確認した。

《3月議会での主な議案への賛否の状況》

Table with columns for '事件名' (Event Name) and 15 council members (福永誠一, 竹上公也, 山内親宣, etc.). Rows are categorized into '予算関連' (Budget-related) and '条例関連' (Ordinance-related).

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 裁：議長裁決 可：可決 否：否決 棄：棄権

益城町議会だより No.47 平成 24 年 5 月

後編 編集 新緑の青葉が繁る季節を迎え、清々しい風薫る爽やかな中、軽快な動きを味わうのもいいものです。 昨年は東日本大震災という未曾有の震災を経験し、「想定外を想定することの大切さを学んだ一年となりました。被災で亡くなられた方々のご冥福を心より祈りすると共に、今後のより迅速なる復旧復興を切に願うものであります。 さて世界情勢が刻々と変化を遂げていき日本経済も厳しい状況が続くなか、私共町議会も町政が目指す「日本一住み良い町」の実現に向け執行部と切磋琢磨しながら工夫と努力をしていく所存であります。 町民の皆様方の今後更なるご指導、ご協力の程よろしくお祈り致します。 (文責 野田 祐士)

議会の動き

- 1月 6 議会広報編集特別委員会 成人式 11 次世代育成支援市町村トップセミナー 17 上益城郡議長定例会議 議会広報編集特別委員会 高遊原南消防組合広域化会議 消防団出初式 22 議会広報編集特別委員会 31 議会広報編集特別委員会 2月 1 九州中央自動車道延岡線建設促進協議会協議会 議会広報編集特別委員会 7 町村新議員研修会 14 裾野中小学校組合議会定例会 裾野組合議会視察研修(16日まで) 17 御船地区衛生施設組合議会定例会 20 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会定例会 22 熊本県町村議会議長会定例会 総会 益城町企業連絡会議 24 上益城広域連合議会定例会 28 高遊原南消防組合議会定例会 3月 1 議会運営委員会 全員協議会 5 裾野中小学校組合議会会議 第1回益城町議会定例会(14日まで) 6 都市計画審議会 16 議会広報編集特別委員会 27

3月定例会 傍聴者数

Table showing attendance numbers for the 3rd regular session: 1日 8名, 2日 4名, 3日 31名, 最終日 14名, 合計 57名, 常任委員会 (12日・13日)



大木町から研修

組合議会は、2月15日益城町において平成24年度予算案の審議がなされ、全会一致で可決した。 また、同日から16日にかけて天草市の統廃合予定である小学校の視察を行った。 天草市においては、平成28年までに現在42校ある小学校を17校に、17校ある中学校を13校に統廃合する計画であり、その一つである天草市立金焼小学校と、下浦第一小学校を視察した。



金焼小学校にて説明を受ける組合議員

日本渡市金焼地区は下浦石で有名で、長崎のオランダ坂や各地の鳥居などに使われるなど、石材業が盛んであったが現在は高齢化が進み、現在の金焼小学校の児童数は12名である。 少人数の特徴として、教師の手が行き届き、学力、生活面については良好であるが、逆に「自主性がない、切磋琢磨する場面がない、部活動の活性化が図れず体力不足である」などの意見が聞かれた。 当校は平成24年4月1日をもって廃校となり、下浦第一小学校と先行統合、本渡東小学校と名称も変更されることである。また、平成28年には瀬戸小、志柿小が新たに統合され、約250名の児童で再出発の予定と伺った。 両校ともに、統廃合に向けてPTAや地域住民が一体と

なって各種準備を行っており、時代とともに子どもたちの教育、将来を真剣にとらえていることを学べる研修であった。 当町でも裾野中小学校の統廃合問題が議論されており、真に子どもたちの将来を考えた教育のあり方を原点に、更なる議論をしていかなければならないと痛感する研修となった。 組合議会は、2月17日にかかれ、平成23年度一般会計補正予算並びに平成24年度一般会計予算が承認された。 平成24年度の歳入歳出の予算の総額は2億253万円となった。主な事業計画は、施設の老朽化設備の取り換えなどの施設延命化対策である。

御船地区衛生施設組合

御船地区衛生施設組合は、2月17日にかかれ、平成23年度一般会計補正予算並びに平成24年度一般会計予算が承認された。 平成24年度の歳入歳出の予算の総額は2億253万円となった。主な事業計画は、施設の老朽化設備の取り換えなどの施設延命化対策である。

福岡県 大刀洗町、大木町から 視察研修に来町 1月30日 大刀洗町より、当町の議会運営委員会、議会広報特別委員会の視察に来町された。 益城町議会運営についてと、議会広報の編集方針・編集方法等について説明を行ったあと、一般質問や質疑の方法、議会報の原稿作成や構成は、どのような手順で行うかなど、活発な意見の交換を行い、これからの議会運営や広報紙の編集に参考になった。

皆で健康を考えよう

特定健診受けて 健康チェック



『やっぱ、国民健康保険税は上げんと、しょんなかごたるな。なんでこぎゃん病院代のかかるごつなつたらか。』

確かにこの3〜4年医療費が増えております。原因については、今しっかりと分析をしておりますが、入院などの高額医療がかなり増えております。

一人あたりの医療費の推移

をみてみますと平成20年度が約28万円、平成22年度が約30万9,000円で平成23年度の見込み額が約33万円とかなり増えているのがお分かりと思います。だからといって、国保加入者の人数が増えているわけではありません。平成20年から約9,800人ぐらいで推移しております。

現在益城町の**特定健診（まじき健診含む）**の受診率は32パーセントとかなり低くなっております。具合が悪くなつてから病院に行つて手遅れにならないように、日ごろの健康チェックが大事です。

「健診受けに行くと、すぐぐタバコはやめなつせとか、酒の飲みすぎで言わすけん、ばつてん、俺らどぎゃんもなかもね。」このような声を聴きますが、**健康は自分で守る**ものの早めの健康チェックを。



11

広安小学校



心をひとつに♪

今回は、広安小学校の器楽部の紹介です。
4年生以上の、男子2名、女子13名の元気な仲間たち。リード楽器のアコーデオン主体に、木琴、ピアノ、鍵盤ハーモニカ、打楽器、巧みな演奏を思い切り楽しんでる子どもたちの表情は爽やかです。

取材に伺ったのは、2月16日、まだまだ寒い午後の音楽室、暖房もつけずやる気満々の子どもたちに圧倒されました。

音楽教室に掲げられた合言葉
聴く人に感動を届けよう

- ★あいさつする器楽部
- ★宿題をする器楽部
- ★進んで動く器楽部

実践する子ども達は、曲もポップ系、クラシック系と幅広く子ども達自身で選びます。

これまでに「栄光の架け橋」、クラシック「シンコペーター」クラシックロック、「情熱大陸」、現在は4曲目の「オペラ座の怪人」に挑戦中♪

指導に当たられる北里先生のピアノ、渡邊先生の指揮部員の数としては決して多いとは言えない中、一人ひとつの楽器を受け持つことで1曲の演奏を仕上げるには一人ひとりの占めるウエイトは大変大きなものとなります。

しかし、練習は、「心が弾んで楽しい」「色んな楽器をこなす楽しさがある」「演奏している時の充実感」そして「皆で合わせる楽しさ」、先生から褒められると益々やる気になる「こんな思いを子どもたちが語ってくれました。

北里先生は、「皆で力を合



器楽部全員集合

わせ協力のもと、常に個人の力ではなく皆の力でつくりあげる事を大事にしていきたいと思います。」とお話下さいました。その先生の思いは子ども達にしっかりと届いているようですよ。

練習成果の披露には、全校児童朝会で1学期ごとに1回の音楽朝会があり、また上益城郡音楽会や熊本県合奏祭へ毎年出場しています。

また、時におやつとの差し入れを持って卒業生が訪れ、先輩の指導にあたります。この日、卒業生からリクエストされた「情熱大陸」の演奏に感動の拍手。

卒業生との交流にも心が温められました。

(取材 坂田みはる)